

# 事務事業事後評価表

## 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	国際交流事業		所管課 【2】	企画経営課
			評価者(担当者)	大磯 麻香
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	③人をはぐくむまちづくり		
	主要施策(節)	(5)国際交流の推進		
	施策区分 (市民意識調査結果)	(1)国際交流活動の推進 (2)国際感覚豊かな人材の育成		
		<input type="checkbox"/> 【A】重点改善領域 <input type="checkbox"/> 【B】重点維持領域 <input checked="" type="checkbox"/> 【C】観察領域 <input type="checkbox"/> 【D】維持領域		
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input checked="" type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 千円】 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 国際交流奨励費補助金交付要綱 】 <input type="checkbox"/> その他の計画【 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的的事业 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 款 2 項 1 目 12 細目 1			

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	国際化の進展により、海外への渡航者、海外からの来日者及び在住外国人の数は増加傾向にある。これからの時代は、外国の暮らしや文化などへの理解を深め、国際化の時代にふさわしい豊かな国際感覚を身につけることが大切である。
対象(誰、何に対して) 【9】	市民、市内在住外国人、友好姉妹都市、玉名国際交流協会
意図(どのような状態にしたいのか) 【10】	市民が豊かな国際感覚と国際的視野を身につけられるよう、友好都市、姉妹都市を中心に交流・協力の輪を更に広げ、文化、スポーツ、経済など様々な分野での交流促進に努める。

## 《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】
実施方法 【13】	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】
事務事業の具体的内容 【14】	・友好姉妹都市への公式訪問や公式訪問団の受け入れを行う。 ・玉名国際交流協会への支援の一環として補助金の支出による財源補助と運営補助を行う。 ・補助金を交付することにより国際交流を促進する。 ・グレン・ミラー音楽祭の開催支援を行う。 ・瓦房店市からの経済訪問団の受入を行う。
事務事業を構成する細事業 【15】	
⇒	
① 友好姉妹都市公式訪問・受入事業	
② 国際交流協会支援事業	
③ 国際交流奨励費補助事業	
④ グレン・ミラー音楽祭支援事業	
⑤ 国際交流事業	

## 《事務事業実施に係るコスト》

		H25年度決算	H26年度決算	H27年度決算	H28年度予算	全体計画
投入コスト	事業費(千円)	国庫支出金				
		県支出金				
		起債				
		受益者負担				
		その他				
		一般財源	3,018	4,746	1,754	2,678
	【16】 小計	3,018	4,746	1,754	2,678	0
[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)		0	0	0	0	
職人件費	職員人工数	0.27	0.15	0.30	0.30	
	職員の年間平均給与額(千円)	5,424	5,761	5,761	5,761	
	【17】 小計	1,464	864	1,728	1,728	
合計		4,482	5,610	3,482	4,406	

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28計画
① 友好姉妹都市公式訪問・受入事業	友好姉妹都市への公式訪問や公式訪問団の受入を行う。	公式訪問回数	回	0	1	1	0
② 国際交流協会支援事業	協会への補助金交付及び運営支援を行う。	自主活動事業数	回	12	12	12	12
③ 国際交流奨励費補助事業	補助金を交付することにより国際交流を促進する。	補助金交付件数	件	21	22	1	30
④ グレン・ミラー音楽祭支援事業	グレン・ミラー音楽祭の開催支援を行う。	実行委員会参加回数	回	2	0	0	0
⑤ 国際交流事業	瓦房店市からの経済訪問団の受入を行う。	訪問団の受入回数	回	0	0	0	1

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H25目標	H26目標	H27目標	H28目標
			H25実績	H26実績	H27実績	
1 姉妹・友好都市からの参加者数	姉妹・友好都市等との公式訪問派遣又は受入時の人数	人	0	12	36	0
2 各種国際交流事業参加者数	国際交流協会事業に参加した人数	人	400	1,000	1,000	1,300
			1,000	1,262	1,230	

《事務事業の評価》

評価項目	評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。 <input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	本事業を廃止・休止した場合、学校教育で取り組んでいる「英会話学習の推進」に支障をきたすなど、国際感覚豊かな人材の育成が図れなくなる。特に市の将来を担う子どもたちへの影響は計り知れないものとなる。
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。 <input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。 <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) C	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。 <input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成	当初予定していた瓦房店市からの公式訪問が実現に至らず、またクラリダ市からの公式訪問人数が減少したことなどから、目標を達成できなかった。国際交流協会事業の参加人数については、会員数増加に向けた啓発活動の実施や魅力ある事業の展開を検討するよう提案し、成果向上を図る。
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。 <input checked="" type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。 <input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。 <input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。 <input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。 <input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。 <input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小を検討 <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討 <input checked="" type="checkbox"/> 細事業の効率化【 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> 廃止 】
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	国際交流奨励費補助事業については、年々減少しており、市民の国際交流活動を支援している事業と言えるものではない。昨年度の評価結果でも、周知についての指摘を受けていることから、事業改善が必要と認識している。周知方法については、広報たまなや市ホームページへの掲載だけでなく、教育機関への事業説明も実施したい。また、国際交流協会との協働により、本事業の利用拡大を図る。
昨年からの見直し・改善状況【32】	国際交流奨励補助金の利用者拡大に向けて、事業の周知方法について検討した。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	豊かな国際感覚や国際的視野の醸成、本市の国際化の推進に資するため、本事業は引き続き推進する必要がある。特に国際交流協会支援事業については、本市の国際交流活動の中心的役割を担う団体の活動経費の大方を補うものであるため、団体の自己財源による運営資金の確保がなされるまでは継続すべきである。	評価責任者 <b>松田智文</b>
------------------	--	----------------------